
人間科学研究

第36巻 第1号 補遺号 2023年

目次

1. 特別寄稿

私と人間科学

.....大須 理英子..... 1

2. 退職教員プロフィール

池岡 義孝 教授

..... 11

竹中 晃二 教授

..... 13

3. 原著論文

大学生がオンラインで映像制作を協働する過程において形成される態度と変容する意識

.....富永 麻美・保崎 則雄..... 15

4. 研究ノート

避難行動要支援者と支援者を繋ぐ支援情報共有システムの開発

.....小坂 菜生・内田 和宏・宮本 雄司・巖淵 守..... 29

5. 資料

インターネットゲーム障害における心理学的支援に関する研究動向

.....小林 えり佳・大山 一樹・浅見 祐香・野村 和孝・嶋田 洋徳..... 43

6. 総説

緊張型頭痛の疫学研究動向とスクリーニングツールに関するレビュー

.....田野邊 果穂・町田 規憲・本谷 亮・武岡 敦之・LEE Steve K・

熊野 宏昭・田山 淳..... 57

青年期におけるアジア系移民の家族内の文化的不一致と心理的問題についての研究動向

—青年期の在日コリアンに対する心理的介入への示唆—

.....佐々木 三紗・金子 健一郎・桂川 泰典..... 67

7. 書評

人間科学で読み解く幸せな認知症

—認知症の人は「恍惚の人」ではない—

.....古山 周太郎..... 77

8. 研究室だより

人間環境科学科	風間健太郎	79
健康福祉科学科	森岡 正博	81
人間情報科学科	杉澤 武俊	83

9. 修士論文要旨

A. 地域・地球環境科学研究領域

市原 孝子	中山間地域再生のための広域経営システム構築に関する研究	85
大槻 正遼	複数種の中型哺乳類がウミネコの繁殖におよぼす影響	86
小島 快斗	ツシマヤマネコの補強に向けた適切な放獣前飼育期間と放獣環境の提案	87
小高 歩	北海道北部において海鳥の巣材として利用されるプラスチックゴミの実態と繁殖に及ぼす潜在的影響	88
崔 爽	祖先型3-イソプロピルリンゴ酸脱水素酵素の網羅的復元と機能解析	89
下川 知恵	現代ボルネオ狩猟採集民集落の居住空間と相互行為	90
杉浦 恭子	北海道利尻島におけるオオセグロカモメの人為起源の餌の利用が繁殖成績に与える影響	91
松本 実路	太古環境の推定を目指した祖先型アンチポーターの復元	92

B. 人間行動・環境科学研究領域

柴田 卓弥	高層建築物における順次避難のための階段内混雑評価モデル	93
藤田 匠	漫才における予定調和の構築・崩壊 —発話・視線・姿勢・顔の動きの時間発展構造から紐解く—	94

C. 文化・社会環境科学研究領域

王 心瑤	日本で就職した中国人女性元留学生のライフキャリア	95
ゴ レイサン	国際結婚家庭の教育戦略 —中国における中国人女性と先進国の男性の国際結婚家庭を中心として—	96
高橋 真央	滞日ムスリム・コミュニティにおける相互扶助システムの原理 —大塚マシドを事例として—	97
丁 菲菲	日本女性の就業状態と格差—出産と子育てを軸に見る女性の就労の現状	98
中村 銀華	ハワイ島パホアにおける日本人移民の歴史社会学的研究 —コミュニティ形成とアイデンティティの変容—	99
野藤 修三	貧困家庭から大学進学を可能にする条件	100
吉川錬太郎	ひとり親世帯と教育達成の関連	101
劉 徳威	高齢者の社会経済的状況に関する分析	102

D. 健康・生命医科学研究領域

コウ イクジョウ	虫恐怖症傾向者を対象にCFSを用いた曝露の有効性を検討	103
安達 奎介	瞬目同期率と集中力の関連性の検討	104
石川菜々子	妊婦の健康維持を目的とした行動変容型教材の開発および効果検証	105
伊東 正登	感情主観評価の前頭アルファ左右差への影響	106

大隈 玲志	洞察問題における制約初期値の高さによる神経活動：fMRI研究	107
謝 涼晶	オートファジー抑制成分と抗がん剤の併用による抗がん効果増強効果の検討	108
山崎 稜太	無意識刺激による瞳孔径変動プロセスの解明及び機械学習を用いた情動分類	109
吉井 幸	新規代謝関連分子を標的とした非アルコール性脂肪肝炎（NASH）治療薬開発	110

E. 健康福祉科学研究領域

平松 極	エーリッヒ・フロムの自由思想をめぐる哲学的考察	111
銭 夢圓	障害大学生の生活に関する日中比較	112
板口 真吾	小学生の生活習慣と体力・運動能力、視力との関連および課題	113
市原 華	周産期ダイオキシン曝露がマウスの他個体認知に及ぼす影響	114
伊藤 和哉	地域住民の防災意識・行動とソーシャル・キャピタルとの関連	115
伊藤 光紀	逆転課題に適応する神経活動の <i>in vivo</i> カルシウムイメージング	116
稲葉千恵美	性別違和当事者である「FTM」が生殖補助医療により 子どもをもつプロセスについての検討	117
金賀 駿	療法士の測定効率化を目的とした足関節痙性測定装置のスタンドアローン化	118
川田 雅之	介護を支える考え方の内在化プロセスの研究 —ユニット型特別養護老人ホームの介護未経験入職者が利用者本位の介護が できるようになるまで—	119
菊地 真一	介護保険における福祉用具専門相談員が携わる業務の標準化に関する研究	120
黄 中鉅	障害者就労支援体制の日中比較を通じた中国における 農福連携による農村支援の可能性について	121
小宮山正晴	機械学習を用いた重度肢体不自由者に対する支援ツールの開発	122
柴 利穎	中国・北京市における在宅介護に対するソーシャルワーク実践の現状と問題点 —Eソーシャルワーク事務所でのインタビュー調査を通して—	123
XU Yinghan	Content Analysis of Human Papillomavirus Vaccine Related Videos on YouTube in Japan	124
CHANG XINYI	小児糖尿病患者を対象としたキャンププログラム開発に関する研究	125
関口貴美子	ケアラーズカフェの役割と機能に関する研究	126
高橋 匡衡	認知的柔軟性に対するプロバイオティクス投与効果検証	127
デン コウヘイ	福祉施設で働く職員のワーク・エンゲージメントに関する研究	128
畑中 芳夫	がん患者と家族のための社会的苦痛のケア	129
劉 明シン	A Comparative Study On Contact Tracing Applications(CTA) Available During The COVID-19 Pandemic	130
レン シャオジ	介護支援専門員から見た在宅高齢者の口腔ケアに関する多職種連携	131

F. 臨床心理学研究領域

五十嵐彩夏	フクシマの子どもたちへの家族に関する質的研究	132
岩谷菜々子	自閉スペクトラム症傾向と注意課題中の作業負荷がQOLに及ぼす影響	133
太田 美都	非臨床群におけるアンヘドニアと情動に対する反応性の関係の検討	134
大山 一樹	職場ストレスおよび認知行動的特徴の差異が インターネット依存傾向に及ぼす影響の検討	135

片山 広大	経頭蓋静磁場刺激が高社交不安者の前頭前野に与える影響	136
熊谷(浅黄)鞠月	ウェルビーイング療法に基づく心理教育的介入の検討	137
神野 遥香	がんサバイバーの就労に関する心理社会的困難に影響する要因の検討	138
小林 莉奈	拒絶過敏性を有する非定型うつ病傾向者に対する脱フュージョンと アクセプタンス介入の効果	139
田口潤一郎	日常生活場面における先延ばし行動生起のメカニズムの検討	140
竹田 光輝	うつ病休職者における職場復帰の困難感の関連要因の検討	141
田中穂乃香	メンタライジングと表情認知の関連 —愛着ストレス負荷によるメンタライジングの変動—	142
田中 茉優	幼児を子育てする親の認知行動的特徴の記述的検討	143
西原希里子	青年期における不適応行動の予防に重点を置いた ストレスマネジメント教育の効果	144
平山 千洋	自伝的記憶の概括化と能動的注意制御機能との関連性の検討	145
松木田健斗	インターネットゲーム障害傾向者に対する注意バイアス修正を用いた 予防的介入の効果の検討	146
松田 尚実	メタ認知的信念の観点から見た過剰適応の検討	147
三島 菜乃	大学生における主観的認知機能尺度の作成と信頼性・妥当性の検討	148
三住 倫生	認知行動療法におけるマインドフルネスの臨床的効果に関する記述的検討	149
柳田 綾香	社交不安者に対するビデオ通話における自己映像が 社交不安の維持要因に与える影響	150

G. 感性認知情報システム研究領域

東 孝明	高周波振動面の振幅制御方法および知覚特性	151
倉岡 利樹	値段交渉における説得方法（フレーミング効果）と容姿の検討	152
小塚さおり	認知プロセスに着目したmusic-evoked nostalgia喚起モデルの構築	153
立川 芳行	中房総の鉄道沿線を活性化する屋外教育環境の実現提案	154
戸塚 悠介	文章刺激の反復提示による印象と脳波の変化	155
平仙 健晃	オンライン会議における疲労の分析	156
前島 健哉	キャラクター顔画像を用いた深層学習による声質変換	157

H. 教育コミュニケーション情報科学研究領域

田村 高之	授業動画視聴における学習効果向上を目的とした アプリケーションソフトウェアの開発と検証	158
稲田 寛二	高校生の公民科に対する内発的動機づけの向上を目的とした 実践者アクション・リサーチ	159
小川 美菜	生徒の英語に対する内発的動機を向上させるための 実践者アクション・リサーチ	160
神戸 基貴	選抜場面における性格測定に関する反応時間分析 —拡散過程モデルを用いた回答プロセスの推定—	161
仙石 義夫	VRヘッドマウントディスプレイを用いた仮想空間内における アクティブラーニングの有用性の検討	162

田代 穂香	STEAM教育における全天球型発電所探索アプリの活用および評価	163
張 子嫣	大学生における英語学習アプリの利用状況と学習効果に関する探究	164
濱本 宗我	大学におけるティーチング・アシスタントを題材とした ゲーム学習教材の開発と評価	165
福岡 直樹	音を探究し創造する効果的なSTEAMワークショップに関する実践的検討	166
松井 麻美	中学生に対するキャリア探索を目的とした協働的アクション・リサーチ	167
于 曉雯	オンライン授業における中国人日本語学習者を対象とした 日本語学習ゲームの開発及び評価	168
横山 滉人	授業場面における教師の児童理解の内容と活用方法及び それらへの影響要因の検討	169
横山 文映	対話型レポートにおける学生の対話過程に関する研究	170

I. 教育臨床コース

有馬 宏子	価値の明確化およびコミットメントが軽度知的・発達障害を有する 労働者の心理的well-beingに及ぼす影響	171
梅本かおる	中学校英語科における心理教育的援助サービスの実践 —授業内でのSSTの効果—	172
正田 温子	不登校の子どもをもつ親に対するCRAFTプログラムを参考とした 行動論的心理教育の効果の検討	173
高橋 裕子	第一・第二言語の発達に応じた問題行動の出現頻度に関する研究	174
水野 透	放課後等デイサービスにおける軽度発達障害児の行動支援研究	175

10. 博士論文要旨

D. 健康・生命医科学研究領域

吉田 椋	実行意図手法を適用したmHealth介入による身体活動の促進	177
オン ウェイリン	Development and Evaluation of a Health Promotion Program for Instrumental Musicians using a Behavior Change Theory	179
平山 健人	上肢の選択に影響を及ぼす認知神経科学的介入法の検討	181

F. 臨床心理学研究領域

浅見 祐香	再犯に影響を及ぼす窃盗行動維持要因の認知行動論的再理解	183
小口 真奈	成人期注意欠如・多動症における罰や報酬への感受性に基づく 先延ばしの理解と、抑うつ症状発症メカニズムの解明	185
森石 千尋	社交不安における不安反応の復元に慢性ストレスが及ぼす影響	187

G. 感性認知情報システム研究領域

金今 直子	統合失調症患者の感情情報の評価と特徴分析に基づく 精神科リハビリテーションへのICT利用に関する基礎的研究	189
-------	--	-----

H. 教育コミュニケーション情報科学研究領域

森田 和行	テーブルトップ型顕微鏡画像提示システムの開発と学習効果の検討	191
-------	--------------------------------	-----

11. 人総研シンポジウム抄録

扇原 淳	地域活性化の核となるふるさと教育……………	193
藤本 浩志	産官学民の共創によるwell-beingを柱とした街づくり —切れ目のない「支援」を考える—……………	203

12. 「人間科学研究交流会」報告

第64回	楊 潔……………	213
第65回	井上 和哉……………	215
第66回	志田 哲之……………	218
第67回	近藤 嘉高……………	220